

価値創造モデル

オリンパスの価値創造モデル

OUR PURPOSE
私たちの存在意義

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling

**世界の人々の健康と安心、
心の豊かさの実現**

Strength

**顧客との信頼関係をベースに築いた
強固なポジション**

- ▶ 消化器内視鏡のグローバルシェア約70%
- ▶ ドクターへのトレーニングをグローバルに実施
- ▶ 新興市場に先駆けて参入し、医師との信頼関係を構築
 - 1972年の日中国交正常化以来、中国市場にて約50年の信頼関係を構築
 - 1975年にシンガポールに駐在員事務所を設置

グローバルかつ強固な経営基盤

- ▶ 医療従事者にトレーニングの場を提供することを目的とした、トレーニングセンター約17拠点
- ▶ 世界の医療機器メーカーの中で業界トップクラスのサービスネットワークを構築
- ▶ 治療機器事業のグローバル統括拠点を米国に設置
- ▶ 信用格付A(R&I)、BBB+(S&P)
- ▶ 機関投資家・証券アナリストとの対話約900回*1

高品質で先進的な製品を生み出す技術力

- ▶ 世界で最も革新的な企業トップ100に9年連続で選出
- ▶ 質の高い知的財産ポートフォリオを構築し、オリンパスグループで約17,000件*2の特許を保有
- ▶ 創業以来築いてきた強固なノウハウ・光学技術
- ▶ 多品種少量生産を実現するものづくり力

高い専門性を有した多様な人材

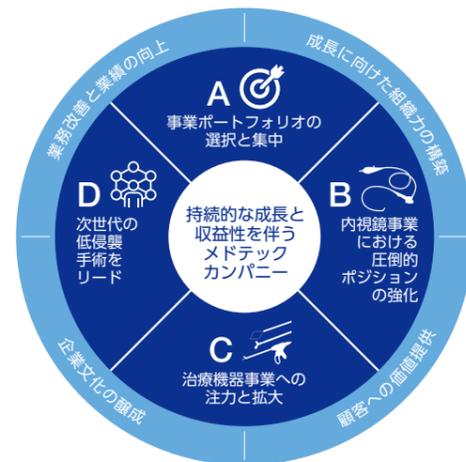
- ▶ グローバル・メドテックカンパニーを目指し、グローバルポジションに専門性の高いタレントを採用
 - 治療機器事業を中心とした更なる成長のため、事業開発の専門部門を米国に設置、タレントを採用し、4件のM&Aを実施*1
 - グローバルにおける外国人役職者の割合約37%*3
- ▶ 実行力強化研修に累計約2,600名が参加、グローバルコミュニケーション強化プログラムに累計約3,000名が参加



Strategy

Corporate Strategy

真のグローバル・メドテックカンパニーへの飛躍
持続的に成長できる企業文化・体質の実現



6つのESG領域に注力

- | | |
|----------------|---------|
| 1. コーポレートガバナンス | 4. 環境 |
| 2. 経済的持続性 | 5. 人的資源 |
| 3. 製品の持続可能性 | 6. 社会 |

オリンパスの重要課題(マテリアリティ)

- 医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上
- コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力
- 責任あるサプライチェーンの推進
- ダイバーシティ・インクルージョンの推進
- 社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献

Social Outcome

顧客を通じた、患者さん、国・社会への価値提供



患者さん

- 世界の人々の健康に貢献
- 早期診断・低侵襲治療による患者さんのQOL向上

5,000万件
大腸内視鏡件数/年*4

100
適応可能な疾患数*5

顧客 (医療機関、研究機関、製造業等)

- 早期診断・低侵襲治療により、医療効率・医療経済性の向上に貢献
- 生物・医学研究、病理研究に貢献
- 産業の効率化、検査品質向上に貢献

顧客との協業により築いた信頼関係

- 製品への改善・要望をフィードバック
- 豊富なニーズを把握した製品の提供
- 手技開発のサポート

国・社会

- 早期診断・低侵襲治療により、医療費の抑制に貢献
- 医療の未来へ貢献
- 暮らしの安心・安全に貢献

Financial KPI



年率 **5-6%**
売上高成長率



> 20%
営業利益率*6

*1 2021年3月期
*2 2021年3月現在
*3 2021年7月1日時点のグローバルシニアマネジメントにおける割合
*4 自社調べ。グローバル:米国、カナダ、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国、日本、中国、韓国、オーストラリア、インド/データは地域により2018年あるいは2019年時点
*5 当社はさまざまな治療に役立つ医療機器を提供しており、2021年3月現在100の疾患に適応可能
*6 特殊要因調整後